

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年12月23日(金)

その1 通算291号

◇ 情操教育のススメ【親子造形センター】 世界子ども美術博物館内

今年度に「学校行事」として位置付け、15日(金)に実施した「おー！造形教室」。実施後の所感^{しょかん}は、『延期してでも、実施して本当によかった』の一言。

加えて、会場である【「世界子ども美術博物館」内の「親子造形センター」】の充実した設備、どの発達段階の子供にも対応できる内容の豊富さ（※子供が備える技術・手先の器用さ等に対応）、子供の知的好奇心をくすぐる題材（※自由発想の展開エリアが広い題材）や、創作意欲を沸き立たせる環境面の工夫（※制作見本作品の多さ・カラフルさ、季節や岡崎色等のタイムリーな彩色）、質の高い指導者と親切なスタッフ、これらを肌で実感することができた。正直、ほれほれである。

体験でしか味わうことのできない「よさ」に触れ、さらに、充実感に満ちた子供たちの笑顔を見て、その場で来年度の予約をお願い（※未受理）したほどである。

今回の造形教室は、「巾着袋^{きんちやくぶくろ}の絵付け」である。平面的だが、身に付けている技術の有無を問わず、誰もが完成にたどり着ける点が良い。他にも題材は多種に及ぶ。少し見渡せば、ウレタン（スポンジ）での3次元成形や粘土題材、バッジ、飛び出す絵本、立体お面の絵付けなど、魅力的題材が、所狭しと並ぶ^{どころせま}。来年度に「造形教室」を実施するなら、「これ」か「これ」と、すでに題材も絞り込んだ。

思考しながら指先を動かす「ものづくり」は、机上の学問では得られない充足感を得ることが可能だ。そして、自分の発想や工夫を生かすことが、自分らしさを見つけるきっかけとなる。さらに形となることで、達成感も味わえる。

つまり、子供の情操を伸ばすには、もってこいの教育施設であるということだ。

しかも、岡崎市が管理しているから、費用もほぼ材料費といったところで、大変お手ごろなところも良い。自動販売機も充実しており、食事スペースもある。

今回の造形教室で、子供たちは実際に施設を利用した。今回制作した巾着袋の他に、たくさんの作品を見る機会もあったろう。「やってみたいな」「つくってみたいな」と思っている今がチャンス。冬休みを利用して、「親子で造形タイム」なんてのはいかがだろうか。ちなみに休館日は月曜で、年末年始も休館なので注意。

他の耳寄り情報として、「世界子ども美術博物館では、ピカソやモネ、山下清、平山郁夫といった著名な画家たちの子ども時代の作品が鑑賞出来る」とのこと。



☞児童の移動は、岡崎市所有の2台の大型バス。
車内は、学校準備のマスクを重ね、「2重マスク」で対応。

☞左：低学年
右：高学年



高学年を指導してくださった大岡先生は、自分の中2の恩師。世代を超えてお世話になる。



◆【「おー！造形教室」6年生作品：アート染め巾着袋きんちゃくぶくろ】



<制作方法>あらかじめ図案を準備。図案に従って「カラーインクシート」を手でちぎって形作り、転写シートに貼る。重なり合う部分は糊で接着。専用の熱転写マシンで巾着袋に熱圧着して完成。皆、満足笑顔だ。



2学期の学校行事を全校でしめくくる「とっても素敵な一日」になりました。